

タットン会 通信

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、ボランティアセンター 046 (825) 0017 で、日程を確認することも出来ます。
※ 活動中などの写真掲載を遠慮なさりたい方は、事務局までお知らせ下さい!!! (事務局は青バッチです)
 (2月の参加費は、6,500円、寄付金、2,510円 計9,010円でした。ありがとうございました)

6年目最後の～タットン大会、そして来年度に向けて～

2月16日(65回目のタットン会)の夜の部は、今日のこの『タットン大会』と7年目に入る5月からの『タットン会年間活動計画』について話し合いを行いました。

毎年この時期には次の年の年間計画を立てて、みんなで確認していくことで継続していけるのです。参加者は17名、昨年引き続きタットン大会の原案を県大生が考えてくれたのですが、あまりにも奥深い考えの元に絞り出された案に深く感動させられました。

また、**会費(チャレンジャー1家族につき300円)の継続を確認**(参加費を払わないで入ってくるチャレンジャーもいるようなので、呼びかけを行なっていきましょう!)やチャレンジャー参加者の増加とボランティア不足に対しては、**保護者の協力を可能な限りお願い**していくことになりました。

タットン会をスタートした時、若林さんをはじめ多くの保護者が自分の子は他の人に預け、他のチャレンジャーを相手に鍛えて!?下さっていた(今でもそうですが…)。ボランティアとして、また保護者として活動している場面を見て、我々が学んできたことも大きな力になっているのです。**タットン会が継続していられるのは、そんな保護者の関わり**もあっての事なのです。

もう一つ、ボランティア不足に伴い**全体を見渡せる人**(今まではチーフでしたが…)が作れなくなっていました。そこで**チーフはボランティアとして、チャレンジャーに付かず(ベストは、卓球・バドミントンそれぞれにも全体を見る人がおり、プラスαでチーフがみることなのですが)、全体を見ることに決定しました!**

それから、スポーツ、障がい知識のある人への**有償ボランティアの依頼**(例えば、協会の方・障がいスポーツの講師等)を場合によっては、怪我防止のためにもお願いしてみても良いかなとも思っています。

18時30分から始まった会議も、気がついたら終電にやっとの事フラフラに間に合った次第です。来年度7年目に向けて2008年度活動計画案(別紙)も出来上がりました。

ますます無理せず～和気あいあいと～自分の為にも～タットン会に関わっていきたいと思います。



感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャー26名参加

※1 さすが、全国大会に出場しただけあってとても上手です。いろいろな人と積極的に打って下さい。ダブルスの練習は二人で息を合わせるので、良い勉強だと思います。(N様)

※2 前半はRさんS子さんTさん、私の4人で転がし卓球をやりました。ニコニコしたり、時々真剣な表情になったり、卓球を楽しくやりました。～後半は、TさんとRさん二人で転がし卓球をして30回続けて出来ました。サウンドボールの方が打ちやすかったそうです。

～最初はタオルを手放さずキョロキョロしていました～、目標を達成するとそこで打つのをやめていました～(Iさん) →岩崎さんはひとりで三人ものチャレンジャーと行いながら、カードにもぎっしりとコメントを残して下さいました～すごいです!!! 私にはマネが出来ませ～ん!

※3 今日はSちゃんとZちゃんと三人でやってみました。私がSちゃんの後ろに構えてフォローしながら、Zちゃんと向き合いながら楽しめました。途中『うん〇』と言っていたのですが、お母さんに聞くと『ウ



全国大会に出場し、銅メダルを獲得した井上君→写真右は父

ソ』とのことでした～。(かず)

- ※4 前半 (バドミントン) のラリーでやっていくうちにドンドン命中率が上がり、遠くまで飛ばせるようになっていました。休憩ではけん玉をやり、足腰の使い方が上手になっていました～ (Mさん)
- ※5 今日は41回ラリーが出来ました。シャトル1つでアウトすると困る状況でやってみました。すごく集中して、真っ直ぐ (いつもはワザと誰もいない方向に…) 返球してくれました。(I田様)
- ※6 …『休憩』と言うことが多く、休みますが自ら立ち上がってまたやる～ということ、繰り返して良くやりました。(H様)
- ※7 ～やや後方でシャトルをとらえています。自分の前で打てるようになるのもっとラリーも続きそうです。今日は「サポホリ」で顔見知りの青木さんとも一緒にラリーをしました。笑顔がとても素敵です (W様)

余暇活動

～パート27～

現在担任を受け持たせていただいている学級での授業や、タットン会での活動に何らかのかたちで還元できるであろうという思いから、昨年の夏「初級障害者スポーツ指導員養成講座」を受講する機会を得ました。「初級」とは言え、中級、上級、さらにはその上の資格への土台となる講座の為、資格取得に要した4日間の受講内容は、「心理学」「福祉行政」「安全管理」などの概論をはじめとして、「運動援助実践」や「高齢者レクリエーション」など実技的なものを含めると実に幅広いプログラムが組まれていました。

その中で「余暇活動」に関わる基本的な考え方のひとつとして、『その活動を通じて、楽しさや喜び、満足感、克服感、充実感、達成感、幸福感、ほどよい緊張感、明るい気分など、活動をしている人にとってプラスと感じられることが大前提であり、且つとても重要である。』と紹介されました。また、人と人との交流の中で上述したようなプラスの感情を得られる重要性に加え、「心の健康」や「QOL」への寄与を考えたとき、『周囲の人間がその感情を共有してあげること、その気持ちに素直に共感してあげること忘れてはならない』とされています。

そういう意味において、タットン会に対しては、多くの参加者が「あそこへ行けばみんながいる。」「楽しい時間がそこにある。」「けん玉のおじさん、次も来てくれるのかな・・・。」そんなワクワクする思いで、月1度のこの会を心待ちにしているように思われます。社会的な役割、寄せられる期待も決して小さなものではないと考えます。そのような活動に微力ながらも関わらせていただいていることに感謝をしつつ、私自身も「プラスの感情」を大いに分かち合える時間としていけたらと思います。

事務局 大西 功

～ 仲間

～ (皆さんをご紹介できずにごめんなさい)

(今回のチーフ荏原さん)



→ 毎回お伝えしておりますが、**写真掲載をご遠慮**される場合には事務局にご連絡下さい!

本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー：事務局メンバー
継続受付：鈴木ほか学生
新規受付・新規説明：事務局・学生
全てのサポート：県立大学学生・事務局メンバー

《 7年目2008年度の予定 》

ホームページでも確認を!!!

来年度、5月24日(土)は県立保健福祉大学からスタートです。その後、6/21 7/19は決定!